

2025年9月26日
株式会社京葉銀行



ニューヨーク市からのまちづくり視察への参加を通じて 産官学連携の強化を図りました

株式会社京葉銀行（頭取 藤田 剛）は、2025年9月11日（木）、ニューヨーク市からのまちづくり視察に同行し、学生や行政などとともに、地域社会が抱える課題の解決に向けた交流を行うことで、産官学連携の強化を図りましたのでお知らせいたします。

このたび当行は、ニューヨーク市を拠点として都市デザイン分野を研究する、非営利団体アーバンデザインフォーラム※¹の視察にあたり、事前に休憩場所や視察先の調整を行うなど視察が円滑に進行するよう支援しました。また、視察当日は、まち歩きを通じて幕張ベイタウンおよび花見川団地のまちづくりについて学ぶとともに、学識経験者や、建築・都市学を専攻する学生、行政などと意見交換を実施することで、住宅団地の高齢化や人口減少などの地域課題解決に繋がる都市づくり・まちづくりに関する知見を深めました。

- ※1 力強く、協調性を伴い、競争力を有する持続可能な都市の創造における都市デザインの役割に関する理解と影響力を高めることを標榜し、都市デザインを専門とするニューヨーク市の非営利団体。1978年に実施された都市デザインに関する国際会議の開催を契機に設立。約1,000名の会員によって構成。

【実施概要】

日 時	2025年9月11日（木） 10:00～16:00
場 所	幕張ベイタウン、花見川団地 ほか
視 察 テーマ	幕張ベイタウンや花見川団地など住宅団地の先進事例の視察を通じて、ニューヨーク市の抱える住宅分野の課題解決に向けた参考とする。 （視察団は9/8～12の期間、他の日程で首都圏近郊の先進事例視察なども実施）
主 催	アーバンデザインフォーラム（代表：ダニエル・マカーフィ）
協 力	明治大学（I-AUD※ ² ）、UR都市機構、千葉市、京葉銀行 ほか

- ※2 理工学研究科 建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系

【当日の様子】



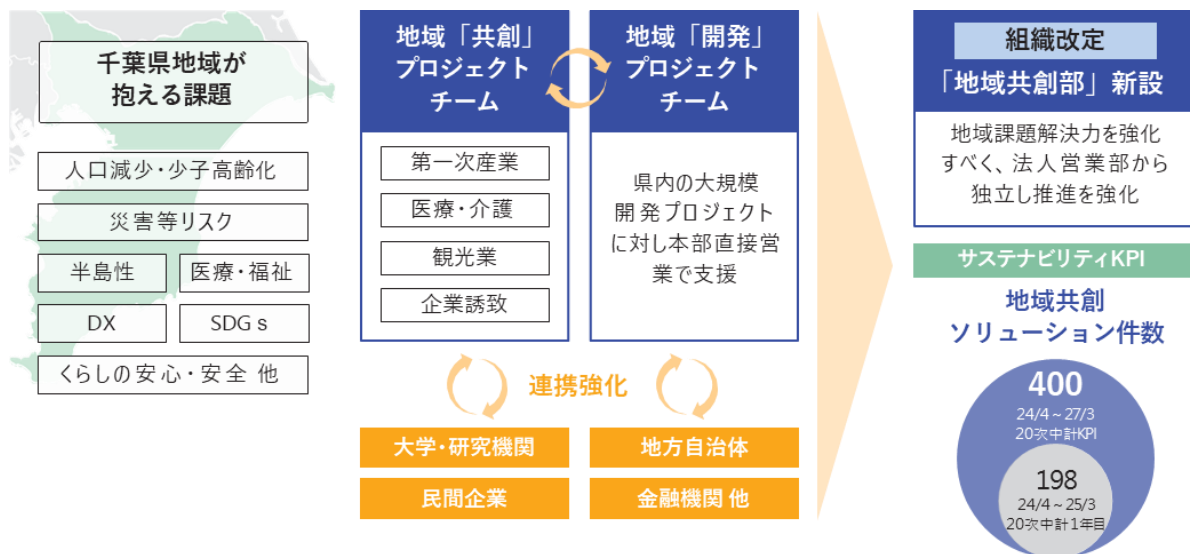
幕張ベイタウンでのまち歩き



意見交換会

当行は、2025年6月25日付で本部機構の一部改定を行い、人口減少・少子高齢化などといった多様化、複雑化する地域社会の課題に対し、地域特性を踏まえた専門性の高いソリューション（地域共創ソリューション）の強化を目的として、「地域共創部」を新設しました。

「地域共創部」では、第一次産業、医業・介護、観光業、企業誘致の分野におけるソリューション提供のほか、県内大規模開発プロジェクトへの支援を行うため、大学・研究機関、地方自治体などとの連携強化に取り組んでいます。



当行は今後も地域社会とのリレーションを強化することで魅力あるまちづくりに貢献してまいります。

以 上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。